

IoT推進のための新産業モデル創出基盤整備事業

平成29年度概算要求額 **10.5億円（7.0億円）**

事業の内容

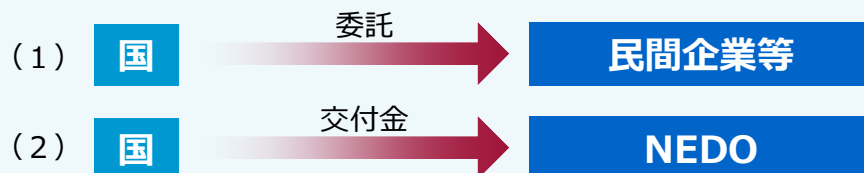
事業目的・概要

- IoT（モノのデジタル化・ネットワーク化）の拡大等による膨大なデータ収集とAI（人工知能）による解析能力の向上によって、今後、ロボット等を活用した設備の保守点検など、新たなビジネスモデルが出現し、多様な働き方や事業形態の実現が期待されています。
- 他方、我が国でこうした新たなIoTビジネスに取り組むためには、規制・制度の見直しや、セキュリティの確保、業界横断的なルール形成等が不可欠となっており、こうした制度等の環境を整備していくことが課題となっています。
- このため、制度等の環境整備に向けて、各分野における実証を行い、データ利活用を推進することで新たな産業モデルを創出します。

成果目標

- 2020年までに、各分野におけるモデル実証結果（共通指標・ルール・システム等）を活用した事業を創出します（事業化率100%）。
※自主保安の高度化等の一部事業については、成果ができたものから順次必要な規制・制度改革を行います。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

(1) IoT新産業モデル創出基盤整備事業

- 産業保安、航空機等の各分野における新産業モデルの実証を行い、IoTを活用したビジネスの課題となる規制・制度の見直し等の環境整備を図る。

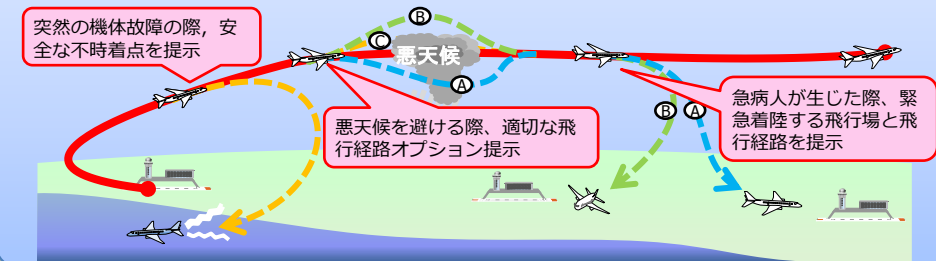
産業保安分野 ～化学プラント等における自主保安高度化～

- 産業保安水準の維持・向上等を図るため、以下の実証を行う。
 - プラントが有する様々なデータを活用した配管腐食等に関する保守・保安の高度化に関する実証
 - ヒヤリハット情報や運転データ等の相関分析等による事故予兆の実証
 - 複数の事業所間で、事故や異常現象等の情報を共有し、事故予知レベルを向上させるための情報共有プラットフォームの構築・実証



航空機分野 ～パイロットの操縦等をサポートする航空システムの高度化～

- 世界的に航空需要が増加する一方、熟練パイロットの不足等が見込まれる中、例えば、現在、パイロットが手動で対応している悪天候時の飛行計画の変更等について、AI技術を活用したパイロット支援システムなど、高度で安全な航空システムの実現に向けた実証を行う。



(2) 先進的IoT活用事例に対応した技術・制度等調査事業

- IoTを活用した先進的プロジェクトを選定し、個別の事例毎に法令等の制度面、技術面から課題を抽出することで、IoTによる新産業モデルの指針となる制度の在り方や技術開発の方向性を示す。